

病気の子どもの
きょうだいのためのイベント



こんにちは！わたしたちは「しぶたね」という名前のボランティアグループです。しぶたねの「しぶ」は、「きょうだい」というえいごのことは「シブリング」からとりました。「たね」は、「たねまき」の「たね」です。病気の子どものきょうだいたちがこまったとき、つらいとき、うれしいとき、安心して話ができる場所の「たね」をたくさんまいていこうと思ってつけました。

アメリカには病気やしょうがいのある子どものきょうだいが集まって、楽しいゲームをしたり、おやつを食べたり、話をする、きょうだい为主役のイベントがあります。日本でもそんな楽しい日があったらいいなと思って、しぶたねは1年に2回「きょうだいの日」をひらいています。

みんなのことをだいすきなボランティアのおにいさんおねえさんが待ってるよ！
いっしょにあそぼう！

日時：2011年10月23日(日)午後1時から4時

参加者：病気の子どものきょうだい（小学生）12人ぐらい

もちもの：体育館用シューズ（きょうだいと保護者の方の分）

申し込み方法：申込用紙に記入し、FAXか郵送でお願いします

しめきり：10月13日（木）必着

（申し込み多数の時は抽選。定員に余裕があればしめきり後も受け付けます。）

お問い合わせはメールでこちらまでお願いします → sbtn0311-toiawase@yahoo.co.jp

※申込用紙を郵送させていただきますので、ご送付先をお知らせください

会場：大阪市立市民交流センターよどがわ

〒532-0031 大阪市淀川区加島1-58-8

JR東西線「加島」駅1番出口より徒歩8分

「梅田」駅が阪急「十三」駅より市バス「神崎橋」「加島駅前」行き、または阪急バス「加島駅」「阪急塚口」「西川」行きで「加島中」下車。南へ250m

（梅田からのバスの乗車時間は15分ぐらい。バス停から徒歩5分ぐらいです。）

会場向かいのグラウンドの半分が駐車スペースになっていますが、台数に限りがあります。



※提供していただいた個人情報の保持には万全を期し、しぶたねからの連絡、統計資料作成にのみ使用し、他の目的では使用いたしません。

当日のスケジュール (予告無く内容を変更することがあります)

12:30 開場 (1F 講堂)

※病児の一時保育受付は先に集会室 102 へ

13:00 シブレンジャー (ボランティア) 紹介

全員であそんでみよう

13:30 きょうだいは親御さんと別れ、講堂に残ります。

シブレンジャーと一緒におやつを食べたり、
走ったり投げたり楽しく過ごしましょう。

※今回親御さんの控え室はありませんが、会館内に
自由に過ごせるスペースがありますのでご利用ください。

15:30 親御さんも講堂へ。

最後にみんなであそぼう

ふりかえり (アンケート記入)

16:00 終了予定

一時保育のお迎えはお早めをお願いいたします

※きょうだいでないお子さん、年齢の小さなきょうだいさんは、講堂に入ることはできません。一緒に来られる場合は、必ず事前に一時保育をお申し込みください。なお、保育でお預かりできるお子さんの人数には限りがありますので、お受けできない場合もあります。ご了承ください。

(ボランティアとあそんで過ごしてもらいます。ボランティアは看護や医療の専門家ではありません。)

※体を動かすあそびが含まれておりますので、動きやすく汚れてもよい服装でお越しください。

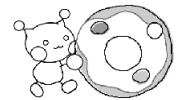
※館内は土足禁止になっています。スリッパはありますが、きょうだいと保護者の方は走り回るあそびがありますので、底のきれいなスニーカーや上靴をご用意ください。

※おやつを食べる時間があります。食物アレルギーのあるお子さんは事前にご相談ください。

※記録写真や記録映像、アンケート結果などを今後のきょうだい支援の発展のために研究会発表などで使用させていただく場合があります。ご了承をお願いいたします。

しぶたね

(Sibling Support たねまきプロジェクト)



病気の子どものきょうだい (Sibling) へのサポートの種を蒔こうと、社会福祉士が中心となり 2003 年 11 月に立ち上げた小さなボランティアグループです。病気や治療のために、きょうだいの子ともと病気の子とも、ご家族のお互いを大好きな気持ちがすれ違い傷つくことが少しでも減るように…きょうだい支援の必要性を広く知ってもらおう方法を考え、きょうだいの気持ちに寄り添いたいと願っています。

2004 年 3 月 21 日、念願の第 1 回「きょうだいの日」を実施しました。その後も定期的に年 2 回、春はきょうだいと親御さんが一緒にあそべる 1 日を、秋はきょうだい同士が出会い、交流する 1 日 (シブショップ) を企画しています。代表とファシリテーターはドナルド・マイヤー氏 (アメリカ合衆国きょうだい支援プロジェクトディレクター) によるシブショップに関する講演およびファシリテーター養成トレーニングを受講しました。「きょうだいの日」を通じて、病気の子どものきょうだいたちに、安心して楽しくすごせる場、たくさんの人の愛情を感じられる場を作ることが目標です。

2006 年 3 月より、病院で面会に行く親御さんを待っているきょうだいとあそぶ活動もはじまりました。月に 2 回、大阪市内の病院で活動しています。



子どもとあそぶのが好きなボランティアさんを募集しています。詳細はブログをご覧ください。→ <http://blog.canpan.info/sib-tane/>